

桑名市の国際化推進について

市長公室 政策経営課

桑名市の国際化の背景と課題



- 外国との姉妹都市・友好都市提携などをおこなってこなかった。
- 〇 市内に転入する外国人数は増加。
- 〇「多文化共生」の観点から、「国際交流アドバイザー委員会」を設立。



しかし・・・

問

- ◆ 世界的には、グローバル化が急速に進む。
- ◆ 今後、人口減少社会における様々な問題が生じる恐れがある。

題

※産業の衰退・担い手の不足・税収悪化等により市民サービスの低下、経済悪化は必至

課

- ⇒ 地域経済の活性化が不可欠!
- ⇒ 交流人口(海外を含めた来訪者)の増加のための施策が重要!

題

⇒ 市は国際化事業が乏しく、今後、市民の「国際感覚」の涵養が必要!



そこで・・・

- ★ 総合計画(H27~)で「世界に向けて開かれたまち」を基本構想の一つに。
 - ※「国際交流」事業の推進と、「多文化共生」事業の更なる推進。
- ★ まち・ひと・しごと創生総合戦略で「インバウンド」を基本目標の一つに。
 - ※ 外国人観光客誘致による様々な相乗効果を期待。

人口減少による様々な問題(桑名市人口ビジョンより)



生産年齢人口の減少

- ○労働力の低下により市内の経済成長の抑制が懸念される。
- 〇中小企業、一次産業での人材確保が困難となり地域社会の維持と発展に支障が生じる。

老齢人口の増加

- ○貯蓄の取り崩しが進み家計の貯蓄率が低下し、市内全体の資本確保が困難となる。
- ○資本が蓄積ができなくなると、消費の循環が円滑にならず、市場は縮小し、市内の経済は阻害される。

地域の担い手の不足

- ○地域伝統文化・芸術等の伝承が困難となり、消滅の恐れがある。
- 〇地域防災力が低下し、災害時の対応が困難となる。
- ○農林地は荒廃し、有害鳥獣被害の増加が懸念される。

社会保障制度を支える人口の減少

- 〇市民の住民税や国民年金等に対する負担が大きくなり、労働満足感や勤労意欲等の低下が懸念される。
- 〇老人医療費及び介護給付が増加し、家計や企業の負担の増加が懸念される。
- ○財政悪化により行政サービス(道路整備などのハード整備、医療費助成などのソフト事業等)の削減は必至。

桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標について



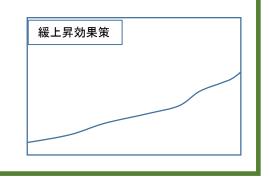
人口ビジョンの展望により導き出した方針 ⇒ 総合戦略の基本目標を設定

長期的に続けることで効果が緩やかに表れる政策

基本目標①

暮らす

だれからも「暮らしたいまち」として 選ばれる桑名市

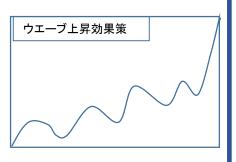


短期施策の繰返しによる実績で効果が表れる政策

基本目標②

インバウンド

海外、国内から「訪れたいまち」として選ばれる桑名市



※インバウンドとは・・・外国人旅行者を自国へ誘致することの意。桑名市では市県外の方を含めた広義的な意味で使用。

桑名市を取り巻く今後の国際的な情勢



伊勢志摩サミット

【オール三重】

ジュニア・サミットin三重

【桑名市主会場】

国際化推進事業を展開する絶好の機会!!

2020年 東京オリンピック ・パラリンピック

【キャンプ地誘致】

MICEの開催誘致

【国際会議等の誘致】

桑名市の国際化推進事業のポイント



- 1. 国際的行事開催後の事業を更に推進する。
 - ※事業を一過性のものにしない。

- 2. 市民に還元できる事業であること。
 - ※ 従来の姉妹都市提携のような人的交流のみで完結しない。
- 3. 市民一人ひとりが世界に目を向けることを目指す。
 - ※ 行政だけでなく市民(民間)自ら国際交流を実施する。
 - ※ 市民が外国人や外国の文化に理解を持ち、自らが桑名を世界に発信する媒体となる。
- 4. 市民の誇りの醸成を促進する。
 - ※市民が桑名の魅力を再発見し、まち・歴史・文化等に誇りを持てるよう事業を展開する。

国際化推進検討委員会の位置付け①(ジュニアサミットまで)



桑名市の国際化

国際化に関わる施策の「ハブ」としての機能

ジュニアサミット推進課

ジュニア・サミットの推進



桑名市国際化推進 檢討委員会

【桑名市総合計画 審議会専門委員会】 ブランド推進課

桑名ブランドの推進

商工観光課

観光振興の推進

その他、教育・文化・スポーツ等に関する施策

国際化推進検討委員会の位置付け②(ジュニアサミット後)



桑名市の国際化

将来的にポストジュニア・サミットを総合的に推進



桑名市の国際化推進の方向性



従来、縦割りであった事業を「観光の産業化」と「国際化」の視点から集約する

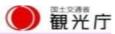
- 1. 総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく事業展開
- 2. 観光地域づくりの推進(インバウンドの推進、観光の産業化、農林水産業の六次化等)
- 3. 公民連携の推進
- 4. 多文化共生態勢の更なる強化
- 5. 市民総がかりで国際感覚を向上
- 6. 国際的な観光都市を目指す
- 7. 桑名の交流人口を増加させ雇用を創出

日本版 D M O (Destination Management Organization)の可能性(観光庁資料)



本物力こそ桑名力

日本版DMOの役割、多様な関係者との連携



日本版DMOの役割

- ① 日本版DMOを中心として観光地 域づくりを行うことについての<u>多様な関係者の合意形成</u>
- ② · <u>各種データ等の継続的な</u> 収集·分析、
 - 明確なコンセプトに基づいた 戦略の策定、
 - •KPIの設定•PDCAサイクルの 確立
- ③ 関係者が実施する<u>観光関連事業と</u> 戦略の整合性に関する調整・仕組み 作り、プロモーション



観光地域づくりの一主体として実施する 個別事業

- (例)・着地型旅行商品の造成・販売、
 - ・ランドオペレーター業務の実施 等

多様な関係者との連携 内外の人材やノウハウ

商工業

- ・ふるさと名物の開発
- •免税店許可の取得

宿泊施設

- •個別施設の改善
- •品質保証の導入

農林漁業

- ・農業体験プログラムの提供
- ・6次産業化による商品開発・「地域の食」の提供
 - ・多言語、ムスリム対応

内外の人材やノウハウを取り込みつつ、多様な関係者と連携

交通事業者

周游企画乗車券の設定

日本版DMO

・二次交通の確保

地域住民

- ・観光地域づくりへの理解
- ・市民ガイドの実施

行政

- •観光振興計画の策定
- プロモーション等の 観光振興事業
- インフラ整備(景観、 道路 空港 港湾等)
- •文化財保護•活用
- •観光教育
- •交诵政策
- •各種支援措置

地域一体の魅力的な観光地域づくり 戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション

観光客の呼び込み



観光による地方創生

国際化推進事業の今後のスケジュール(案)



本物力こそ桑名力

平成27年度

〇桑名力探検隊 H27年7月5日

※三重大留学生による 桑名市の探索

〇市長とどこでもトーク H27年7月25日

※三重大留学生と市長のディスカッション

〇海外パートナー都市 提携 先進地視察 H27年12月20~21日 ※三重大研究員と市職員

【山口県周南市】【香川県丸亀市】

による合同調査

第1回

桑名市国際化推進検討委員会

H28年2月5日開催

【主な協議内容】

- ●これまでの取組報告
- ●全国の状況及び先進地視察報告
- ●市の国際化の重要性
- ●今後の取組の方向性
 - ※特にジュニア・サミット及び伊勢志 摩サミット終了後の取組について

H28年度

- ◆ ジュニア・サミットin三重 (4/22~4/28)
- ◆ 伊勢志摩サミット (5/26~5/27)
- 〇 桑名力探検隊(7月頃) ※在住外国人対象
- 桑名市国際化推進検討委員会 2回(8月頃、2月頃)※ポストジュニア・サミット事業について

H29年度

- O 交流分野及び交流先調査業務等 (4月~6月頃)
 - ※調査研究を業務委託
- 〇 桑名市国際化推進検討委員会 2回(7月頃、2月頃)
 - ※進捗状況報告・翌年度事業検討

H30年度~

- 〇 桑名市国際化推進検討委員会 (随時開催)
 - ※進捗状況報告・今後の事業検討
- 〇 海外パートナー都市提携 ※有効であれば実施する可能性
- ◆ 東京オリンピック・パラリンピック
- ★ サミットからの盛り上がりを維持